

令和元年度 2年次生課題研究発表会について

1 課題研究成果発表会（校内）

S S H研究開発プログラムの中で最も大きな位置付けをもつ「課題研究」において、2年次生が1年間にわたって取り組んできた研究の成果を発表する研究成果発表会を開催した。発展研究，論文研究について次の日程で3回の発表会を本校の第2生物教室及び，サイエンス館で行った。

1回 10月9日(水) 13:50～15:30(6限～7限)(第2生物教室)

発展研究の研究成果を評価：10グループ全て口頭発表

2回 12月18日(水) 13:50～15:30(6限～7限)(第2生物教室)

発展研究の研究成果を評価：10グループ全て口頭発表

※岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会のステージ発表選考会を兼ねて実施した。

3回 1月22日(水) 12:55～15:30(5限～7限)(本校サイエンス館) ※第2回S S H運営指導委員会
発展研究，論文研究の論文を評価：4グループ口頭発表，10グループ全てポスター発表

口頭発表テーマ ①パスタを折る速さと破片の数の関係(物理)

②瀬戸内海(岡山・香川間)における海水のイオン濃度の考察(化学)

③窒素固定能から，イシクラゲの休眠からの回復の様子を調べる(生物)

④インターネットから見る興味関心と売上の関係について(数学・情報)

口頭発表は，スライドによるプレゼンテーションを行い，各グループ7分程度の発表を行った。



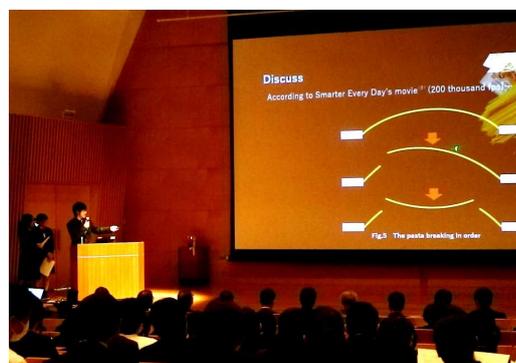
第2回研究発表(口頭発表)



第3回研究発表(ポスター発表)

2 第17回高大連携理数科教育研究会・第20回岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会

県内の理数科設置4校では、「課題研究」を開講し，各校が独自に実施する校内での発表会で，研究成果が報告されている。しかし，発表会を校内のみで終わらせることなく，理数系教育の共通理解と更なる充実・発展を目指して，合同の発表会が企画され，「第1回理数科課題研究合同発表会」が平成13年3月，岡山理科大学を会場に開かれた。20回目となる本年度は，令和2年2月8日(土)に岡山大学創立五十周年記念館を会場に開催された。以下，この発表会の概略を示す。なお，ステージ発表では，「パスタスタを折る速さと破片の数の関係」のグループ



ステージ発表

が最優秀賞を獲得した。



ポスター発表

令和元年度 第17回高大連携理科教育研究会・
第20回岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会

■発表会の概要

日時	令和2年2月8日(土)	
会場	岡山大学創立五十周年記念館	
日 程	(1) 開会のあいさつ	9:50 ~ 10:00
	(2) 発表 (入退場・質疑を含めて10分以内)	10:10 ~ 14:50
	ポスターセッション(61組)	13:30 ~ 14:50
	(3) 審査結果発表, 表彰, 指導講評	15:00 ~ 15:50
	(4) 閉会のあいさつ	15:50 ~ 16:00

■研究テーマ(ステージ)発表校 (※サブタイトルは省略)

分野	テ ー マ	発 表 校
物理	氷の割れ方について	岡山一宮
	パスタスタを折る速さと破片の数の関係	倉敷天城
化学	ろ紙の撥水性を高める研究	津 山
	おがくずを用いた新しい耐火性 および耐熱性素材の開発	岡山一宮
	炭酸ナトリウムを用いた二酸化炭素の捕集実験	玉 島
数学	階段清掃ロボットの機構についての考察	岡山一宮
生物	絶滅危惧種「アッケシソウ」の発芽について	玉 島
	ゼブラフィッシュが赤色光に集まる理由 ~"慣れ"による変化から考える~	津 山
	生体内における微少なマイクロプラスチック 識別方法の確立に向けた研究	岡山一宮
	休眠打破後のイシクラゲにおける 窒素固定能の回復	倉敷天城



ステージ発表表彰式



発表を終えて (集合写真)